

# 仁和 防災まちづくりニュース

【第6号 (2014年12月)】

●編集・発行

『仁和学区防災まちづくり協議会』

会長：上岡 修

〒602-8377 京都市上京区下ノ森通  
一条下 (仁和会館)

- ①アンケート調査結果
- ②ワークショップ開催のお知らせ

## 仁和まつりで『防災まちづくりコーナー』を設置しました！

10月12日(日)に行われた「仁和まつり」で『防災まちづくりコーナー』を設置しました。大人から子供まで、たくさんの方にお立ち寄りいただき、これまでの防災まちづくりの取り組みにふれていただくとともに、住まいの耐震化をはじめとする日頃の備えの大切さを楽しく学んでいただきました。

ワークショップコーナー



防災上の不安のある場所や具体的アイデアなどのご意見をいただきました



耐震映像コーナー



地震発生時の対応や住まいの耐震化の大切さなどを映像を見ながら学びました



耐震模型コーナー



子供に大人気！



どんな支援があるか教えて！

支援制度紹介コーナー



自宅の耐震化を考えたけれど…

耐震相談コーナー

# 👉 防災まちづくりに関する アンケート調査結果がまとまりました！

ニュース第5号でお伝えしました防災まちづくりに関するアンケート調査の結果がまとまりましたので、概要をご報告します。

結果は、防災まちづくりの計画づくりに反映するとともに、対策の必要がある場所については、皆さんと話し合いながら計画的に進めていきますので、これからもご協力をお願いします。

## 《アンケート調査の概要》

- 期間：平成26年7月5日～7月22日
- 対象：町内会に加入している3,634世帯（一部、加入者外あり）
- 配布・回収：町内会長を通じた直接配布・回収
- 回収率：約41%

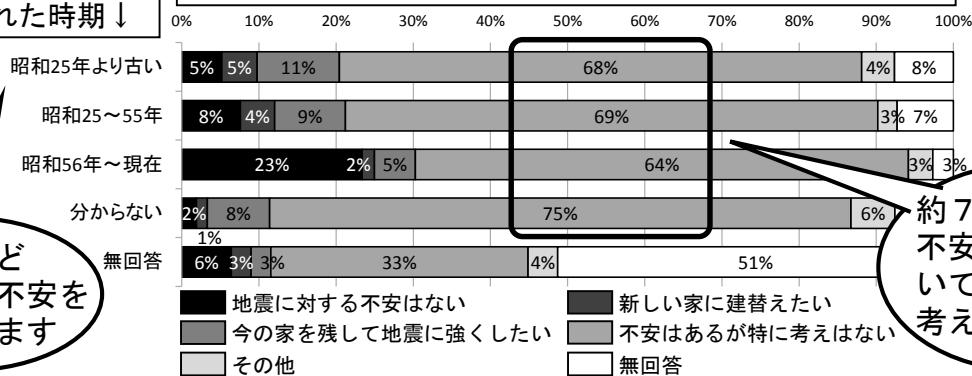
多くの方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました！



## Q 「自宅が建てられた時期」と「自宅の地震対策への考え」について

ご自宅が建てられた時期↓

→ご自宅について、地震への不安をなくす取組の考え



古い家ほど地震への不安を感じています

約7割の人は、不安を感じていても対策を考えていません

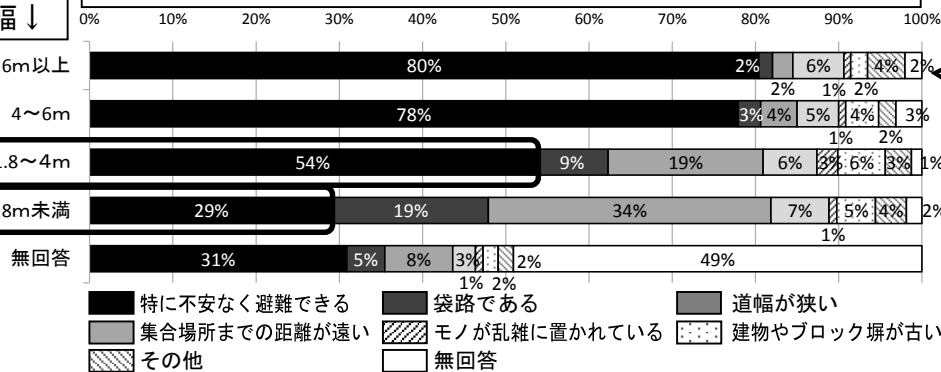
◎地震時にご自身やご家族の身を守ることに加え、地域全体の安全性向上のためにも、建物の耐震化に取り組むことが大事です。

※京都市では、建物の耐震・防火に向けた診断や改修等に対する助成を行っています。（詳しくは、ニュース第5号をご覧ください。）

## Q 「自宅前の道幅」と「自宅から地域の集合場所までの避難経路」について

ご自宅の前の道幅↓

→避難経路に対する不安や危険



狭い道でも3割の人は不安を感じていません

集合場所までの道が狭いほど、避難経路に不安を感じています

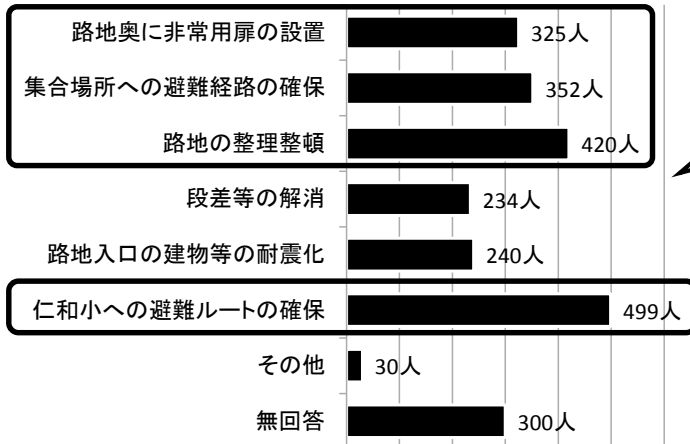
◎狭い道でも安全に避難できるようにするためには、日頃から物を置かない、沿道の建物を丈夫なものにする、道そのものを拡幅するといったことが大事です。

※京都市では、安全な避難経路の確保に対する助成を行っています。（詳しくは、ニュース第5号をご覧ください。）

## Q 仁和学区の安心・安全を高めるために特に重要だと思うこと

### 「道」について

0 100 200 300 400 500 600



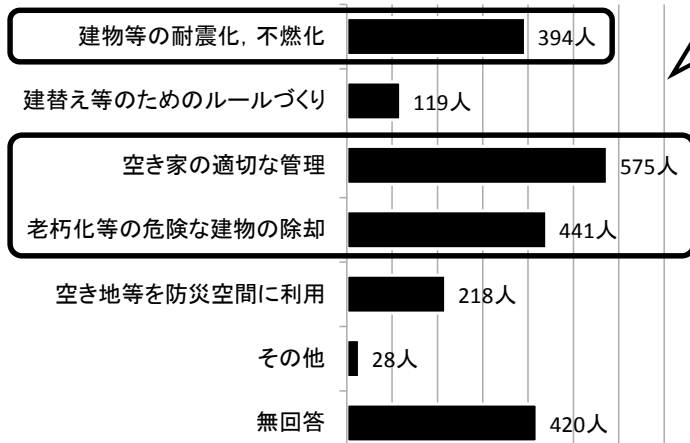
身近な避難経路の安全確保のほか、避難所である仁和小学校へ安全に避難できる道の確保が多くなっています

◎日頃から災害時の避難経路を意識し、避難経路の安全確保に努めましょう。  
また、袋路については、2方向避難の確保などが重要です。

## Q 仁和学区の安心・安全を高めるために特に重要だと思うこと

### 「建物」について

0 100 200 300 400 500 600 700



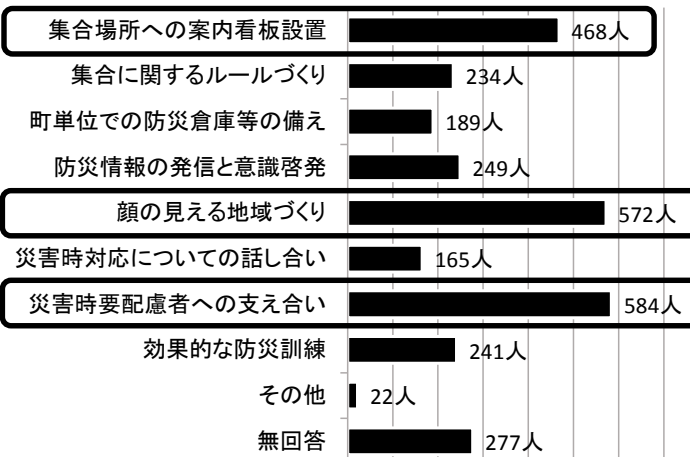
住んでいる家の安全確保のほか、空き家や老朽化した危険な建物への関心が高くなっています

◎一人ひとりが建物の耐震化に取り組むとともに、空き家については、所有者はもちろんのこと、地域として意識をもつことが重要です。  
※京都市では、古い木造家屋の除却や跡地の広場整備等に対する助成を行っています。  
(詳しくは、ニュース第5号をご覧ください。)  
か、京都市にお訊ねください。

## Q 仁和学区の安心・安全を高めるために特に重要だと思うこと

### 「コミュニティ」について

0 100 200 300 400 500 600 700



高齢化や住民間のコミュニティに対する不安を感じている人が多くなっています

◎災害はいつ起きるか分かりません。日頃からコミュニティを大切にすることが、災害時の備えにつながります。

## ☆記述式の設定問、自由意見でいただいた主な意見

### 【防災まちづくり全般について】

- ・自分の身は自分で守るという意識が大切
- ・学区や地域単位の取組を町単位で進めるための意識付けが必要
- ・地域の防災リーダーの育成が必要
- ・他の学区の模範となるような計画づくり
- ・計画に基づく具体的対策の実践

### 【「道」について】

- ・避難経路の確保を重点的に進めるべき
- ・避難経路確保のために隣接する町内との連携が必要
- ・狭い路地や部分的に狭い道を拡幅する
- ・路地始端部の拡幅(セットバック)が重要
- ・消防車が通行できる道を確保することが重要

### 【「建物」について】

- ・建物やブロック塀が倒れると、道が塞がれて避難できなくなる
- ・空き家の適正管理を地域として所有者に働きかける、空き家を減らす

### 【「ひと・コミュニティ」について】

- ・集合場所や避難経路に案内板を設置する
- ・地域のお寺など一時的な避難場所の確保
- ・防災倉庫やAEDなどを町内ごとに設置
- ・近隣どうしの日常的な声掛け、交流や話し合い(町内会の充実)
- ・マンション住民や若者とのコミュニケーションづくり
- ・実際の災害を想定した町単位の防災訓練
- ・災害時要配慮者の把握、避難方法の検討

※改善すべき場所等として具体的なご意見をいただいた箇所については、引き続き対策方法等を検討していきます。  
※アンケート調査結果の詳細をお知りになりたい方は、防災まちづくり協議会メンバーにお声掛けください。

## 🏠 防災まちづくりの計画づくりに向けたワークショップを開催します！

協議会では、今年3月に「防災まちづくり方針(協議会案)」を取りまとめ、その後、アンケート調査や仁和まつりなどにおいて、防災まちづくりに関する住民の皆さんのご意見やアイデアなどを伺ってきました。

これらを踏まえ、まちの将来像や具体的な対策、その進め方を示した『防災まちづくり計画』を年度内にまとめることとしています。

そこで取り組みの一環として、住民の皆さんのご意見やアイデアをいただくことを目的として、ブロック別のワークショップを開催します。

できるだけたくさんの方からご意見をいただきたいと思いますので、ぜひともご参加をお願いいたします。

ワークショップの日程は、以下のとおりです。

**日程**：平成27年1月30日(金)  
午後7時～午後8時30分頃

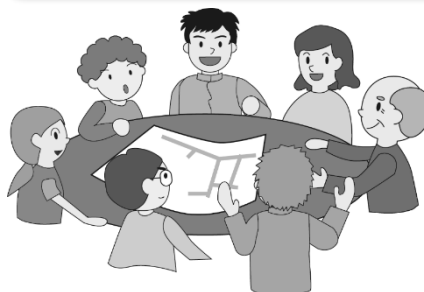
**会場**：仁和小学校 ゆめホール

**対象**：1ブロック、2ブロック、3ブロック、  
4ブロック、5ブロック、6ブロック

**日程**：平成27年2月6日(金)  
午後7時～午後8時30分頃

**会場**：仁和小学校 ゆめホール

**対象**：7ブロック、8ブロック、9ブロック、  
10ブロック、11ブロック、12ブロック



多くの方のご参加をお待ちしています！

